

TSUCHIDA HOSPITAL NEWS 輪

みんなの輪と和を



撮影者：佐藤富枝様(職員家族)

第30号 平成27年4月15日発行/発行元 医療法人社団 土田病院/編集 土田病院 広報委員会

フラワーアレンジ

当院の新棟の各階エレベーターホールにアートフラワーをディスプレイしています。北区の「ベルディ」さんに季節ごとにアレンジしていただいています。白壁と色とりどりの花のコントラストがエレベーターホールを明るくしてくれています。ご来院の際にぜひご覧ください。



今月の一枚

雪解けの中春一番

雪解けの中で、今年は少し早くきた春を見つけました。看護部長 高橋
花名：フクジュソウ



地域医療連携室

相談受付時間：午前9時～午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)があり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。

地域連携

他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

医療相談

経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でもご相談でも構いません。

外来診療時間		[平日]午前9時～12時・午後1時～6時 [土曜]午前9時～12時30分(整形外科は午前9時～12時です)					
		月	火	水	木	金	土
外来診療	午前	院長	院長	院長	院長	院長	交代制
		北川	中村	山本	中村	北川	整形外科 専門外来
		山本	佐々木	豊田	佐々木	豊田	消化器内科 専門外来 (隔週)
				消化器内科 専門外来		循環器内科 専門外来	
午後	中村	北川	北川	山本	中村		
	佐々木	豊田	佐々木	豊田	山本		
			整形外科 ^{※1} 専門外来		整形外科 ^{※2} 専門外来		
			循環器内科 専門外来				

※1 火曜日の整形外科は医師の都合により木曜日に変更になる場合がございます。専門外来を受診される患者様は事前に電話が窓口でご確認ください。

※2 診療時間午後2時～5時

日曜・祝日は休診いたします。

当院理念

地域の安心を第一に考えた
病院づくりを目指しています。

1. 地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い専門医療を実践します。
3. 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

Voice

患者さんの立場に立った優しい病院を目指して。

昨年、私ども土田病院は開設50周年を迎えただけでなく、2年間にわたる増改築工事が完成するという、非常に大きな節目の年となりました。

増改築に伴いリハビリ室や特殊浴室などの機能を充実したほか、療養病床は一室四床以下に抑えゆりのあるスペースを確保し、一般病床につきましても個室と四床室の両方を用意し入院患者さんの療養環境の改善を行いました。

もうすぐ増改築から一年が経過しようとしています。この間も、専門外来において、循環器内科の診療日を週一回から週二回へ増加したほか、リハビリテーション分野では、新たに言語聴覚士を採用し、より一層きめ細やかな対応ができるよう体制を強化する

など、土田病院の理念の一つである、地域の皆様から信頼され地域社会に貢献できる医療機関を目指しているところです。

私は当院の管理部門に所属していますが、ここに「地域医療連携室」という部署があります。耳慣れない名前ですが、その業務について簡単にご紹介させていただきます。ここでは、入院されている患者さんが安心して入院生活を送られ、一日も早く元の生活に戻ることができるよう、専門のソーシャルワーカーが様々なご相談をお受けしています。患者さんが入院されたとき、御家族様も含め、多くのわからない事や、療養や生活における心

配ごと、退院後の生活等いろいろお悩みになることは多いと思います。ソーシャルワーカーはこれらの事柄について一つ一つ対応させて頂いております。誰に話して良いかわからないことや何か不安なことなどがございましたら、お気軽にご相談ください。

これからも、職員一同、患者さんの立場に立った優しい病院を目指してまいります。



経営管理部 部長
小泉 信一



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL
札幌市1次・2次救急指定病院
TEL:011-531-7013
〒064-0921 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
E-mail / info@tsuchida.or.jp
URL / http://www.tsuchida.or.jp



■市電 / 「東屯田通」下車 徒歩1分
■定鉄バス / 「南21条西11丁目」下車 徒歩5分
■車 / JR「札幌駅」から約30分

診療科目
外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科・内分分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数
一般病棟 / 42床、医療療養病棟 / 92床

今回は看護部・放射線科をご紹介します

看護部

看護部理念

- 1.急性期から慢性期医療に至るまで、地域に根ざした幅が広く質の高い看護を提供します。
- 2.医療人としての倫理観に基づき、患者さんの立場に立った思いやりのある看護を提供します。

当院は、134床のケアミックスで一般病棟(42床)、医療療養病棟(40床、52床)、外来で構成されています。また、救急・検査・手術部門は一般病棟に含まれています。

一般病床は、7:1看護配置を取っています。また、救急・検査・手術を担当し一次二次救急を受けているため、多岐に渡る疾患を持った患者さんが入院しています。特に消化器疾患の方が多く、個室が多いのも特徴となっています。手術を含む急性期から慢性期に至るまでの看護が中心となり、幅の広い専門的知識や技術が求められます。その中で患者さんの立場に寄り添った優しい看護を提供するよう日々努力しています。

医療療養病棟は、20:1看護・介護配置を取っています。特に重症度が高い患者さんが多いですが、症状悪化の時には一般病棟にて急性期治療が受けられ、回復後は療養病棟に戻る事ができるのは、ケアミックスの利点と言えます。

医療療養病棟では、看護・介護と協働して日々患者さんに優しく接し快適な療養環境の提供を行っています。また、年間行事を計画し、夏まつりやクリスマス会など患者さんにとって癒しのひと時になればと思います少しでも楽しんでいただけるよう努力しています。

救急・検査・手術・中材部門は、一般病棟の中に配置しています。人数は限られていますが、業務においては高い専門性が求められ他部門との調整力が必要になります。特に消化器に関する手術や内視鏡検査その他幅広い疾患に対応しています。安全で安心してもらえる看護を目ざして努力しています。

外来は、一般外科、消化器外科、内科・救急を中心に整形外科、循環器内科、肝臓内科などの専門外来を行っています。禁煙外来や企業検診なども行い訪問診療へも数箇所行っています。地域の方々から信頼される外来をめざし、親切・丁寧な看護を心がけています。



放射線科



最新の技術・知識で24時間体制で対応。

放射線科は個性豊かな3名の診療放射線技師が、24時間体制(夜間・休日は待機)で業務を行っています。2012年に導入した16列マルチスライスCT他、各種撮影装置を配備し、患者さんの状態・症状により最適な検査が行える環境が整っております。また、最新の技術・知識を習得するため、各技師の経験・能力・興味に応じた研究会への参加も積極的に行っています。

検査機器

単純撮影

一般的に言われる“レントゲン写真”です。胸部・腹部・全身の骨などを広い範囲で撮影でき、被曝も少ないため検査の第一選択として利用されます。



X線CT

Computed Tomography(コンピュータ断層撮影)の略X線を使い体の輪切りの写真を撮影します。単純撮影では見えない体の内部(臓器・脳など)や、細かな骨折も描出出来ます。16列マルチスライスCTの導入により、さらに詳細に短時間での撮影が可能となりました。検査時間は5~10分(造影で15分)程度です。内臓脂肪の計測も行っております。



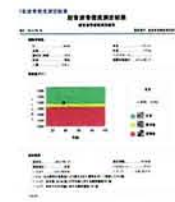
X線TV

透視装置と呼ばれています。バリウムを使った造影検査(胃・大腸)や、骨折の整復などに使用します。大腸カメラ(CF)では、腸の走行やファイバースコープのねじれなどが見れ、検査がスムーズに進行します。



骨密度測定

超音波を使い踵の骨の骨密度を測ります。骨粗しょう症の診断の目安になります。



超音波検査

エコー検査です。X線を使わず音の反響を利用して画像にするため、被曝の心配がありません。主な検査部位…心臓・腹部・甲状腺・頸動脈・下肢動静脈検査時間は15分程度(部位により30~40分)。

